



和田圭祐=1970年5月9日生まれ。広島大学歯学部卒。名古屋大学医学部大学院で医学博士号を取得後、米国ハーバード大学大学院で歯学博士号取得。米国歯周病専門医。米国歯周病学会(AAP)認定医。現在ペンシルベニア大学歯学部でインプラント学ディレクターとして教鞭をとる傍ら、インプラント学術誌において世界最高峰といわれるJOMI誌及びPRD誌の編集委員を務める。医療法人東陽会和田歯科医院インプラント・歯周病担当

アメリカ発



# 最新歯科医療レポート

Vol.16 リポーター：和田圭祐 D.D.S.,Ph.D.,D.M.Sc.

ほとんどの人にとって歯磨きは当たり前の習慣でしょう。歯をぴかぴかにし、息をさわやかにすることのみが毎日の歯磨きの目的であると思っておられる人も多いのではないのでしょうか。

しかし最近の臨床研究から、歯を磨くことは単に歯をきれいに、息をさわやかにすること以上に重大な効果があることが分かっています。様々な研究や臨床プロジェクトによって、口内を清潔に保つことが糖尿病の状態を改善することや心臓病の予防に効果的であることが示されています。歯周病がこれら全身疾患と何らかのつながりがある証拠であるともいえるのです。つまり歯周病の状態になると、歯周病菌が歯茎から血管を通じて全身に回り、結果としていろいろな炎症症状を引き起こすこと

になると考えられているのです。歯周病のリスク1

たとえば歯周病は糖尿病の症状を悪化させるといふ報告が最近増えてきています。歯周病は一種の慢性炎症状態ですが、この炎症状態から産生される物質が血流を通じて体内を循環し、インシュリン



歯周病最新情報

## 歯磨きの隠された秘密

— 歯周病と全身疾患との関係 —

常心臓手術が必要な場合まずは歯周病の有無をチェックし、手術における合併症である心臓弁の感染を最小にするよう求められています。

このように歯磨きはただ歯をきれいにし息をさわやかにするだけでなく、最終的には糖尿病や

の効果を減少させます。糖尿病のコントロールを不良にし、動脈硬化や網膜症、腎症、真剣障害といった合併症のリスクを高めるといわれています。

心臓病などへのリスク減少に役買っているようです。たかが歯磨きですが、日々の積み重ねが虫歯や歯周病だけでなく将来の健康で快適な生活を支えていると言えるでしょう。

また歯周病によって心臓病へのリスクも報告されています。2010年にイギリスで行われた研究では、歯周病があると健康者よりも2倍の冠動脈疾患へのリスクがあり、また歯磨きを2回以上行う人は1回の人よりも冠動脈疾患へのリスクが低かったと報告されています。心臓外科医は、通



※圭祐医師の活動についての最新情報はホームページで更新中。「和田歯科 新市」で検索を。

FRIENDLY DENTAL OFFICE 医療法人 社団 東陽会

**和田歯科医院** (ムシバゼロ) Tel. 0847-52-6480 予約制

福山市新市町新市695-2 <バス通り沿い・駐車場完備> 院長 和田 勝 / 和田 圭祐

詳しくは当院のインプラント専用サイトをご覧ください <http://www.wada-implant.net/>

広島大学歯学部卒・名古屋大学医学部大学院口腔外科学修士課程卒(医学博士) ハーバード大学歯学部大学院歯周病博士課程修了(歯学博士) 現ペンシルベニア大学歯学部インプラント学主任ディレクター